

EMダイヤ新工場竣工

来春本稼働 金属・プラ再生拠点

環境機械メーカーのEMダイヤ(本社)富山県滑川市、森弘吉社長が富山県立山町に建設していた新工場がこのほど竣工した。金属やプラスチックのリサイクル事業など「コトづくり」の拠点とし

て来春をめどに本格稼働させる計画だ。

新工場は「立山第一工場」。北陸自動車道の立山インターチェンジに隣接する約1920平方メートルの敷地に延床面積約490平方メートルの3階建て相当の工場棟を建設した。環境にも配慮した設計でLED照



竣工した「コトづくり」拠点

明を設置したほか、2・8ト天井クレーンはインバーター仕様の省エネ型を採用した。クレーンは低速で動くため作業員の安全も確保する。将来は5トクレーンを設置して事業強化を図る。最大発電容量76キロワットの太陽光発電パネルも設置し

た。

新工場は「コトづくり」拠点としての機能を担う。例えば数年前に金属リサイクル業者と連携して開始したアルミニウム電線をアルミ原料に再資源化する仲介事業や、使用済みの自社製リサイクル設備を修繕・再生するアップサイクル事業をはじめとする新規事業の拡大を図る。IoTなど新技術の実証にも取り組み、新たな資源循環システムを構築するための拠点にする。

本社工場は従来通り「モノづくり」拠点として活用する。同社は独自の刃物構造を持つエコセパレ分離・破砕機や廃電子基板の両面に搭載された電子部品を同時にはぎ取るエココレクターなど独自のリサイクル機械を相次ぎ開発。エココレクタ

1は2022年度資源循環技術・システム表彰でレアメタルリサイクル賞を受賞するなど評価も高い。特許も複数取得済みだ。今後も独自技術の製品を創出するモノづくり拠点としての機能を強化する方針。